



## 2024年3月期 決算短信〔IFRS〕(連結)

2024年4月25日

上場会社名 アステラス製薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4503 URL https://www.astellas.com/jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 岡村 直樹

問合せ先責任者 (役職名) チーフコミュニケーションズ &amp; IRオフィサー (氏名) 池田 博光 (TEL) 03(3244)3201

定時株主総会開催予定日 2024年6月20日

配当支払開始予定日 2024年6月3日

有価証券報告書提出予定日 2024年6月20日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

## 1. 2024年3月期の連結業績 (2023年4月1日~2024年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		当期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	1,603,672	5.6	25,518	△80.8	24,969	△81.1	17,045	△82.7	17,045	△82.7	205,583	0.1
2023年3月期	1,518,619	17.2	133,029	△14.6	132,361	△15.6	98,714	△20.4	98,714	△20.4	205,277	△1.4
	基本的1株当たり 当期利益		希薄化後1株当たり 当期利益		親会社所有者帰属持分 当期利益率		資産合計 税引前利益率		売上収益 営業利益率			
	円 銭		円 銭		%		%		%			
2024年3月期	9.51		9.47		1.1		0.8		1.6			
2023年3月期	54.24		54.09		6.7		5.5		8.8			

(参考) 持分法による投資損益 2024年3月期 △3,165百万円 2023年3月期 1,260百万円

## (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	3,569,603	1,595,988	1,595,988	44.7	890.07
2023年3月期	2,456,518	1,507,954	1,507,954	61.4	839.26

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	172,475	△845,802	614,060	335,687
2023年3月期	327,767	△84,500	△195,623	376,840

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00	109,315	110.6	7.3
2024年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00	126,630	736.4	8.1
2025年3月期(予想)	—	37.00	—	37.00	74.00		442.3	

## 3. 2025年3月期の連結業績予想 (2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,650,000	2.9	48,000	88.1	43,000	72.2	30,000	76.0	30,000	76.0	16.73

コアベースでの連結業績予想は次の通りです。

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		コア当期利益		基本的1株当たり コア当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	1,650,000	2.9	250,000	△9.7	186,000	△16.7	103.73	

(注)2025年3月期からコアベースの業績の定義を変更しています。詳細につきましては、添付資料に記載しています。なお、対前期増減率は、当該変更を反映した2024年3月期の連結業績に基づいて算定しています。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期	1,809,663,075株	2023年3月期	1,809,663,075株
② 期末自己株式数	2024年3月期	16,561,677株	2023年3月期	12,900,609株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	1,793,276,623株	2023年3月期	1,820,019,333株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	688,435	12.2	193,984	48.5	373,257	10.4	292,161	△7.0
2023年3月期	613,566	13.1	130,639	23.3	338,241	25.0	314,210	39.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	162.92	162.87
2023年3月期	172.64	172.57

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	2,458,895	1,183,824	48.1	660.00
2023年3月期	1,488,925	1,022,834	68.7	568.97

(参考) 自己資本 2024年3月期 1,183,449百万円 2023年3月期 1,022,298百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想及び添付資料に含まれる将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料をご覧ください。

(決算補足資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算短信の開示とあわせて決算補足資料及び決算説明会資料を開示しています。

また、2024年4月25日(木)に証券アナリスト・機関投資家・報道機関向けに説明会(ライブ動画配信)を開催する予定です。この説明会の内容については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 財政状態に関する説明	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	9
(4) キャピタルアロケーションに関する基本方針及び当期・次期の配当	12
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	13
3. 連結財務諸表及び主な注記	14
(1) 連結純損益計算書	14
(2) 連結包括利益計算書	15
(3) 連結財政状態計算書	16
(4) 連結持分変動計算書	18
(5) 連結キャッシュ・フロー計算書	20
(6) 連結財務諸表に関する注記事項	21
(継続企業の前提に関する注記)	21
(企業結合)	21
(セグメント情報)	23
(1株当たり当期利益)	24
(重要な後発事象)	24

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

#### ① 当期の連結業績の概況

<連結業績（コアベース<sup>(注)</sup>）>

当期（2023年4月1日から2024年3月31日）の連結業績（コアベース）は下表のとおりです。  
売上収益は増加した一方、コア営業利益及びコア当期利益は減少しました。

[連結業績（コアベース）]

(単位：百万円)

	前期 (2023年3月期)	当期 (2024年3月期)	増減額 (増減率)
売上収益	1,518,619	1,603,672	+85,053 (+5.6%)
売上原価	288,353	292,485	+4,132 (+1.4%)
販売費及び 一般管理費	630,272	740,110	+109,838 (+17.4%)
研究開発費	276,128	294,187	+18,059 (+6.5%)
無形資産償却費	38,436	98,820	+60,383 (+157.1%)
無形資産譲渡益	212	9,735	+9,523 (-)
持分法による投資損益	1,260	△3,165	△4,425 (-)
コア営業利益	286,902	184,641	△102,262 (△35.6%)
コア当期利益	224,619	150,981	△73,638 (△32.8%)
基本的1株当たり コア当期利益(円)	123.42	84.19	△39.22 (△31.8%)

(注) 当社は、会社の経常的な収益性を示す指標としてコアベースの業績を開示しています。当該コアベースの業績は、フルベースの業績から当社が定める非経常的な項目を調整項目として除外したものです。調整項目には、減損損失、有形固定資産売却損益、リストラクチャリング費用、災害による損失、訴訟等による多額の賠償又は和解費用等のほか、会社が除外すべきと判断する項目が含まれます。なお、フルベースの実績からコアベースの実績への調整表は、決算補足資料に記載しています。

**【売上収益】**

- ・ 主要製品の前立腺がん治療剤XTANDI、尿路上皮がん治療剤PADCEV、急性骨髄性白血病治療剤XOSPATAの売上が拡大しました。PADCEVは、特に米国及び欧州で売上が大きく拡大しました。
- ・ 当期に米国で発売となった閉経に伴う血管運動神経症状治療剤VEOZAH（2023年5月発売）と地図状萎縮を伴う加齢黄斑変性治療剤IZERVAY（2023年9月発売）も売上収益に貢献しました。

以上の結果、売上収益は1兆6,037億円（前期比5.6%増）となりました。

**【コア営業利益／コア当期利益】**

- ・ 売上総利益は、1兆3,112億円（同6.6%増）となりました。売上原価率は、製品構成の変化等により前期に比べ0.7ポイント低下し、18.2%となりました。
- ・ 販売費及び一般管理費は、7,401億円（同17.4%増）となりました。成熟製品における費用の削減（同約80億円減）があった一方で、為替の影響（同443億円増）やVEOZAHに関連する費用の増加（同約400億円増）、さらにIveric Bio社の買収による影響（同約310億円増）により、総額として増加しました。なお、XTANDIの米国での共同販促費用を除いた販売費及び一般管理費は、5,452億円（同19.9%増）となりました。
- ・ 研究開発費は、2,942億円（同6.5%増）となりました。主に、為替の影響（同125億円増）やIveric Bio社の買収による影響により、総額として増加しました。
- ・ 無形資産償却費は、988億円（同157.1%増）となりました。Iveric Bio社の買収で獲得したIZERVAYの無形資産償却費が増加の主な要因となりました。

以上の結果、コア営業利益は1,846億円（同35.6%減）、コア当期利益は1,510億円（同32.8%減）となりました。

**【為替の業績への影響】**

当期の為替レートは、下表のとおりです。これらの結果、前期の為替レートを適用した場合と比べ、売上収益においては963億円の増加、コア営業利益においては191億円の増加の影響がありました。

期中平均レート	前期	当期	変動
米ドル/円	135	145	9円安
ユーロ/円	141	157	16円安

## <連結業績（フルベース）>

当期の連結業績（フルベース）は下表のとおりです。  
売上収益は増加しましたが、営業利益及び当期利益は減少しました。

フルベースの業績には、コアベースの業績で除外される「その他の収益」、「その他の費用」等が含まれます。

当期における「その他の収益」は87億円（前期：36億円）となりました。

「その他の費用」として、第4四半期において、遺伝子治療プログラムAT808の資産価値の見直しに伴う無形資産の減損損失（399億円）、エベレンゾの将来計画の見直しに伴う無形資産の減損損失（164億円）、ゾルベツキシマブの条件付対価の公正価値の増加（80億円）を計上しました。また、Iveric Bio社の買収に伴う権利確定前のストック・オプション等の株式報酬に係る支払（334億円）\*を第2四半期に計上したことや、グローバルでの組織改革に伴う一時費用（254億円）などの影響で、当期における「その他の費用」は1,678億円（前期：1,575億円）となりました。

### [連結業績（フルベース）]

（単位：百万円）

	前期 (2023年3月期)	当期 (2024年3月期)	増減額 (増減率)
売上収益	1,518,619	1,603,672	+85,053 (+5.6%)
営業利益	133,029	25,518	△107,511 (△80.8%)
税引前利益	132,361	24,969	△107,392 (△81.1%)
当期利益	98,714	17,045	△81,669 (△82.7%)
基本的1株当たり 当期利益（円）	54.24	9.51	△44.73 (△82.5%)
包括利益	205,277	205,583	+307 (+0.1%)

\* 第3四半期において、新たな事実が判明し追加的な分析を行ったため、当該株式報酬に係る支払を遡及修正しています。

2024年4月12日に公表したフルベースの通期連結業績予想との差異は下表のとおりです。

XTANDIの売上拡大により売上収益が通期予想を上回って着地したことに伴い、フルベースの各利益段階も最新の予想を上回りました。

### [連結実績（フルベース）と最新予想の差異]

（単位：百万円）

	当期実績 (2024年3月期)	最新予想 (2024年3月期)	差異
営業利益	25,518	13,000	+12,518 (+96.3%)
税引前利益	24,969	12,000	+12,969 (+108.1%)
当期利益	17,045	3,000	+14,045 (+468.2%)
基本的1株当たり 当期利益（円）	9.51	1.67	+7.84 (+469.2%)

【主要製品の売上】

(単位：億円)

	前期 (2023年3月期)	当期 (2024年3月期)	増減率
XTANDI	6,611	7,505	+13.5%
PADCEV	444	854	+92.1%
XOSPATA	466	551	+18.3%
VEOZAH* <sup>1</sup>	—	73	—
IZERVAY	—	121	—
ベタニス／ミラベトリック ／ベットミガ	1,886	1,981	+5.0%
プログラフ* <sup>2</sup>	1,988	2,031	+2.2%

\* 1 VEOZAH：欧州ではVEOZAの製品名で承認取得

\* 2 プログラフ：アドバグラフ、グラセプター、アスタグラフXLを含む

<XTANDI>

- ・ 全ての地域で売上が拡大し、ポジティブな為替の影響を除いても前期と比較してグローバルで2桁近く成長しました。
- ・ 米国において、2023年11月に承認を取得した「生化学的再発のリスクが高いM0 CSPC（非転移性去勢感受性前立腺がん）」も売上の拡大に貢献しました。

<PADCEV>

- ・ 全ての地域で売上が拡大し、グローバル売上は前期と比較して大きく増加しました。
- ・ 米国において、2023年12月に承認を取得した「局所進行性または転移性尿路上皮がん患者を対象とした一次治療としてのペムプロリズマブ併用療法」での処方拡大し、売上の伸長に貢献しました。

<XOSPATA>

- ・ 発売している全ての地域で売上が拡大しました。

<VEOZAH>

- ・ 2023年5月の発売以降、売上は拡大しているものの当初の想定を下回りました。

<IZERVAY>

- ・ 2023年9月の発売以降、売上は想定を上回って拡大しました。

<ベタニス／ミラベトリック／ベットミガ>

- ・ 為替のポジティブな影響もあり、グローバルの売上は拡大しました。

<プログラフ>

- ・ 為替のポジティブな影響もあり、グローバルの売上は拡大しました。

【地域別売上収益の状況】

地域別の売上収益は下表のとおりです。全ての地域において、売上が増加しました。

(単位：億円)

	前期 (2023年3月期)	当期 (2024年3月期)	増減率
日本	2,623	2,701	+3.0%
米国	6,524	6,631	+1.6%
エスタブリッシュド マーケット* <sup>1</sup>	3,598	4,156	+15.5%
グレーターチャイナ* <sup>2</sup>	800	885	+10.6%
インターナショナル マーケット* <sup>3</sup>	1,433	1,591	+11.0%

(注) 第1四半期から、インターナショナルマーケットに含まれていた一部の国の商業区分をエスタブリッシュドマーケットに変更しています。前期の金額は当該変更を反映しています。

\*1 エスタブリッシュドマーケット：欧州、カナダ 等

\*2 グレーターチャイナ：中国、香港、台湾

\*3 インターナショナルマーケット：中南米、中東、アフリカ、東南アジア、南アジア、ロシア、韓国、オーストラリア、輸出売上 等



## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、資本及び負債の状況

当期末（2024年3月31日時点）の連結財政状態計算書の概要及び前期末からの主な変動は以下のとおりです。

2023年7月にIveric Bio社を買収して当社の連結子会社にしたことに加え、同社の買収資金に充当するために銀行借入れや、社債及びコマーシャル・ペーパーの発行による資金調達を行ったことに伴い、資産、負債に大きな変動がありました。

#### 【資産】

総資産は3兆5,696億円（前期末比1兆1,131億円増）となりました。

＜非流動資産＞当期末：2兆3,749億円（同9,683億円増）

- ・ 有形固定資産は、2,937億円（同73億円増）となりました。
- ・ 主に2023年7月にIveric Bio社を買収したことに伴い、のれんは4,187億円（同903億円増）、無形資産は1兆4,538億円（同8,913億円増）となりました。

＜流動資産＞当期末：1兆1,947億円（同1,448億円増）

- ・ 現金及び現金同等物は3,357億円（同412億円減）となりました。

#### 【資本】

資本合計は、1兆5,960億円（同880億円増）となり、親会社所有者帰属持分比率は44.7%となりました。

- ・ 当期利益170億円を計上した一方で、剰余金の配当1,167億円を実施しました。

#### 【負債】

負債合計は、1兆9,736億円（同1兆251億円増）となりました。

＜非流動負債＞当期末：6,879億円（同4,654億円増）

- ・ 第2四半期にIveric Bio社の買収資金に充当するために資金調達を行い、当期末の残高は社債2,500億円（同2,000億円増）、長期借入金1,977億円（同1,977億円増）となりました。
- ・ 主にIveric Bio社の買収に伴い、繰延税金負債が453億円増加しました。

＜流動負債＞当期末：1兆2,857億円（同5,597億円増）

- ・ 第2四半期にIveric Bio社の買収資金に充当するために資金調達を行い、当期末の残高はコマーシャル・ペーパー2,850億円（同2,100億円増）、短期借入金1,354億円（同1,354億円増）、1年以内返済予定の長期借入金519億円（同519億円増）となりました。
- ・ その他の流動負債は4,765億円（同938億円増）となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

### 【営業活動によるキャッシュ・フロー】

当期の営業活動によるキャッシュ・フローは、1,725億円（前期比1,553億円減）となりました。

- ・ Iveric Bio社の買収に伴う権利確定前のストック・オプション等の株式報酬に係る支払334億円がありました。
- ・ 法人所得税の支払額は381億円（同314億円減）となりました。

### 【投資活動によるキャッシュ・フロー】

当期の投資活動によるキャッシュ・フローは、△8,458億円（同7,613億円支出増）となりました。

- ・ Iveric Bio社等の買収に伴い、子会社の取得による支出が7,850億円（同7,850億円増）ありました。

### 【財務活動によるキャッシュ・フロー】

当期の財務活動によるキャッシュ・フローは、6,141億円（前期は1,956億円の支出）となりました。

- ・ 第2四半期にIveric Bio社の買収資金に充当するために資金調達を行ったことに伴い、短期借入金及びコマーシャル・ペーパーは3,243億円の増加（前期は150億円の減少）、社債の発行及び長期借入れによる収入が4,723億円（前期比4,223億円増）ありました。
- ・ 配当金の支払額は1,167億円（同163億円増）となりました。

以上の結果、当期末における現金及び現金同等物の残高は、3,357億円（前期末比412億円減）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、次期の連結業績予想について、コアベース（新定義\*）及びフルベースでの業績予想を開示しています。

通期連結業績予想（コアベース 新定義）は以下のとおりです。

#### [通期連結業績予想（コアベース 新定義）]

（単位：百万円）

	当期実績 (2024年3月期)	次期予想 (2025年3月期)	増減額 (増減率)
売上収益	1,603,672	<b>1,650,000</b>	+46,328 (+2.9%)
販売費及び 一般管理費	740,110	<b>757,000</b>	+16,890 (+2.3%)
研究開発費	294,187	<b>317,000</b>	+22,813 (+7.8%)
コア営業利益	276,890	<b>250,000</b>	△26,890 (△9.7%)
コア当期利益	223,196	<b>186,000</b>	△37,196 (△16.7%)
基本的1株当たり コア当期利益（円）	124.46	<b>103.73</b>	△20.73 (△16.7%)

(注) 基本的1株当たりコア当期利益の予想は、2024年3月末発行済株式数（自己株式を除く）により算定しています。

\* 2025年3月期からコアベースの業績の定義を変更し、フルベースの業績から新たに無形資産償却費、無形資産譲渡益、持分法による投資損益を、当社が定める特定の重要な調整項目として除外します。新定義によるコアベースの業績は、当社の収益力を示す指標として、フルベースの業績から当社が定めた特定の重要な調整項目を除外したものです。調整項目には、無形資産償却費、無形資産譲渡益、持分法による投資損益、減損損失、有形固定資産売却損益、リストラクチャリング費用、災害による損失、訴訟等による多額の賠償又は和解費用等のほか、会社が除外すべきと判断する項目が含まれます。なお、上記の増減額及び増減率は、当該変更を反映した2024年3月期の連結業績に基づいて算定しています。

#### [通期の想定為替レート]

2025年3月期（想定）：145円／米ドル、155円／ユーロ

2024年3月期（実績）：145円／米ドル、157円／ユーロ

売上収益は増加、コア営業利益及びコア当期利益は減少を予想しています。

次期の為替レートは、当期実績に比べユーロのみ円高になることを想定していることから、当期の為替レートを適用した場合と比べ、売上収益においては60億円の減少、コア営業利益においては24億円の減少の影響を見込んでいます。

#### 【売上収益】

- ・ 後発品参入の影響を受け、ミラベトリックの売上が減少する見込みです。
- ・ 一方で、PADCEVは米国における尿路上皮がん患者の一次治療の追加適応症による貢献を中心に、グローバルで大きく成長する見通しです。また、VEOZAHやIZERVAYが引き続き拡大し、売上に貢献する見通しです。これらがミラベトリックの売上減少をカバーし、売上収益は増加する見込みです。

以上の結果、売上収益は1兆6,500億円（当期比2.9%増）を予想しています。

【コア営業利益／コア当期利益】

- 販売費及び一般管理費については、重点戦略製品への投資が増加する一方で、成熟製品の費用削減や、当期実施したグローバルの組織改革による費用削減効果により、7,570億円（同2.3%増）を予想しています。
- 研究開発費は、3,170億円（同7.8%増）を予想しています。Primary FocusやR&D機能全般の強化のための投資額が増加する一方で、ポートフォリオの見直しも行き、費用削減も進めていきます。

以上の結果、コア営業利益は2,500億円（同9.7%減）を予想しています。また、コア当期利益は1,860億円（同16.7%減）、基本的1株当たりコア当期利益は103.73円（同16.7%減）を予想しています。

【主要製品の売上】

（単位：億円）

	当期実績 (2024年3月期)	次期予想 (2025年3月期)	増減率
XTANDI	7,505	7,570	+0.9%
PADCEV	854	1,512	+77.2%
XOSPATA	551	600	+8.9%
VEOZAH	73	283	+287.8%
IZERVAY	121	464	+282.6%

通期連結業績予想（フルベース）は以下のとおりです。

【通期連結業績予想（フルベース）】

（単位：百万円）

	当期実績 (2024年3月期)	次期予想 (2025年3月期)	増減額 (増減率)
売上収益	1,603,672	1,650,000	+46,328 (+2.9%)
営業利益	25,518	48,000	+22,482 (+88.1%)
税引前利益	24,969	43,000	+18,031 (+72.2%)
当期利益	17,045	30,000	+12,955 (+76.0%)
基本的1株当たり 当期利益（円）	9.51	16.73	+7.22 (+75.9%)

（注）基本的1株当たり当期利益の予想は、2024年3月末発行済株式数（自己株式を除く）により算定しています。

【通期の想定為替レート】

2025年3月期（想定）：145円／米ドル、155円／ユーロ  
2024年3月期（実績）：145円／米ドル、157円／ユーロ

当期における営業利益255億円には、新定義のコア営業利益で除外された2,513億円の費用（純額）が含まれています。

次期においては、営業利益、税引前利益及び当期利益はいずれも増加を予想しています。営業利益は480億円を予想しており、コア営業利益では除外される約2,000億円の費用を見込んでいます。主な調整項目として、無形資産償却費約1,400億円、加えて減損損失リスクなどのその他の費用として約600億円を織り込んでいます。現時点で具体的な減損の兆候はないものの、過去計上したその他の費用の実績や無形資産残高を基に見積もっています。

#### (4) キャピタルアロケーションに関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、企業価値の持続的向上に努めるとともに、株主還元にも積極的に取り組んでいます。成長を実現するための事業投資を優先しながら、配当については、連結ベースでの中長期的な利益成長に基づき、安定的かつ持続的な向上に努めます。また、自己株式の取得を必要に応じて機動的に実施し、資本効率の改善と1株当たり利益の向上を図ります。

当期の年間配当金については、1株当たり70円（うち期末配当金として35円）としました。次期の年間配当金については、1株当たり74円（うち中間配当金として37円、期末配当金として37円）を予想しています。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性の向上を目指し、2014年3月期決算から国際会計基準（IFRS）を適用しています。

### 3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結純損益計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上収益	1,518,619	1,603,672
売上原価	△288,353	△292,485
売上総利益	1,230,266	1,311,187
販売費及び一般管理費	△630,272	△740,110
研究開発費	△276,128	△294,187
無形資産償却費	△38,436	△98,820
無形資産譲渡益	212	9,735
持分法による投資損益	1,260	△3,165
その他の収益	3,642	8,691
その他の費用	△157,515	△167,814
営業利益	133,029	25,518
金融収益	8,110	11,455
金融費用	△8,779	△12,005
税引前利益	132,361	24,969
法人所得税費用	△33,647	△7,924
当期利益	98,714	17,045
当期利益の帰属		
親会社の所有者	98,714	17,045
1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益(円)	54.24	9.51
希薄化後1株当たり当期利益(円)	54.09	9.47



(2) 連結包括利益計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期利益	98,714	17,045
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	8,733	△5,868
確定給付制度の再測定	7,175	5,965
小計	15,908	96
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の外貨換算差額	90,655	194,026
キャッシュ・フロー・ヘッジ	-	△7,682
ヘッジコスト	-	2,098
小計	90,655	188,442
その他の包括利益	106,563	188,538
当期包括利益合計	205,277	205,583
当期包括利益の帰属 親会社の所有者	205,277	205,583

(3) 連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	286,459	293,742
のれん	328,411	418,694
無形資産	562,496	1,453,824
売上債権及びその他の債権	24,173	20,043
持分法で会計処理されている投資	12,689	15,684
繰延税金資産	84,169	45,594
その他の金融資産	97,886	108,694
その他の非流動資産	10,280	18,597
非流動資産合計	1,406,564	2,374,873
流動資産		
棚卸資産	174,386	248,738
売上債権及びその他の債権	427,965	534,985
未収法人所得税	17,813	13,051
その他の金融資産	19,784	28,784
その他の流動資産	32,428	32,241
現金及び現金同等物	376,840	335,687
小計	1,049,216	1,193,485
売却目的で保有する資産	738	1,245
流動資産合計	1,049,954	1,194,730
資産合計	2,456,518	3,569,603

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資本及び負債</b>		
<b>資本</b>		
資本金	103,001	103,001
資本剰余金	181,280	184,070
自己株式	△25,123	△33,783
利益剰余金	908,158	809,400
その他の資本の構成要素	340,640	533,300
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,507,954	1,595,988
資本合計	1,507,954	1,595,988
<b>負債</b>		
<b>非流動負債</b>		
社債及び借入金	50,000	447,738
仕入債務及びその他の債務	4,217	2,199
繰延税金負債	6,048	51,346
退職給付に係る負債	24,818	24,674
引当金	6,537	7,369
その他の金融負債	89,924	105,602
その他の非流動負債	40,987	48,962
非流動負債合計	222,530	687,889
<b>流動負債</b>		
社債及び借入金	75,000	472,278
仕入債務及びその他の債務	140,236	185,193
未払法人所得税	5,137	38,515
引当金	17,855	15,700
その他の金融負債	105,131	97,565
その他の流動負債	382,675	476,474
流動負債合計	726,034	1,285,725
負債合計	948,564	1,973,615
資本及び負債合計	2,456,518	3,569,603

(4) 連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					新株予約権	在外営業活動体の外貨換算差額
2022年4月1日残高	103,001	179,467	△13,934	944,261	630	233,621
当期包括利益						
当期利益	—	—	—	98,714	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	90,655
当期包括利益合計	—	—	—	98,714	—	90,655
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	△60,556	—	—	—
自己株式の処分	—	△1,442	1,680	△118	△94	—
自己株式の消却	—	—	47,686	△47,686	—	—
配当金	—	—	—	△100,355	—	—
株式報酬取引	—	3,254	—	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	—	13,342	—	—
所有者との取引額合計	—	1,812	△11,190	△134,817	△94	—
2023年3月31日残高	103,001	181,280	△25,123	908,158	536	324,276
当期包括利益						
当期利益	—	—	—	17,045	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	194,026
当期包括利益合計	—	—	—	17,045	—	194,026
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	△10,735	—	—	—
自己株式の処分	—	△1,452	2,075	△450	△161	—
配当金	—	—	—	△116,653	—	—
株式報酬取引	—	4,242	—	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	—	1,300	—	—
非金融資産への振替	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	2,790	△8,660	△115,803	△161	—
2024年3月31日残高	103,001	184,070	△33,783	809,400	376	518,302

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						資本合計
	その他の資本の構成要素					合計	
	キャッシュ・フロー・ヘッジ	ヘッジコスト	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計		
2022年4月1日残高	—	—	13,261	—	247,512	1,460,308	1,460,308
当期包括利益							
当期利益	—	—	—	—	—	98,714	98,714
その他の包括利益	—	—	8,733	7,175	106,563	106,563	106,563
当期包括利益合計	—	—	8,733	7,175	106,563	205,277	205,277
所有者との取引額							
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△60,556	△60,556
自己株式の処分	—	—	—	—	△94	27	27
自己株式の消却	—	—	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	△100,355	△100,355
株式報酬取引	—	—	—	—	—	3,254	3,254
利益剰余金への振替	—	—	△6,167	△7,175	△13,342	—	—
所有者との取引額合計	—	—	△6,167	△7,175	△13,435	△157,630	△157,630
2023年3月31日残高	—	—	15,827	—	340,640	1,507,954	1,507,954
当期包括利益							
当期利益	—	—	—	—	—	17,045	17,045
その他の包括利益	△7,682	2,098	△5,868	5,965	188,538	188,538	188,538
当期包括利益合計	△7,682	2,098	△5,868	5,965	188,538	205,583	205,583
所有者との取引額							
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△10,735	△10,735
自己株式の処分	—	—	—	—	△161	12	12
配当金	—	—	—	—	—	△116,653	△116,653
株式報酬取引	—	—	—	—	—	4,242	4,242
利益剰余金への振替	—	—	4,664	△5,965	△1,300	—	—
非金融資産への振替	7,682	△2,098	—	—	5,584	5,584	5,584
所有者との取引額合計	7,682	△2,098	4,664	△5,965	4,123	△117,550	△117,550
2024年3月31日残高	—	—	14,623	—	533,300	1,595,988	1,595,988

(5) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	132,361	24,969
減価償却費及び無形資産償却費	105,738	157,840
減損損失(又は戻入れ)	84,499	78,931
金融収益及び金融費用	668	549
棚卸資産の増減額	△7,086	△60,036
売上債権及びその他の債権の増減額	△4,849	△55,948
仕入債務及びその他の債務の増減額	△12,274	29,466
その他	98,189	34,816
小計	397,246	210,587
法人所得税の支払額	△69,479	△38,112
営業活動によるキャッシュ・フロー	327,767	172,475
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△36,441	△38,056
無形資産の取得による支出	△52,100	△44,441
無形資産の売却による収入	212	11,003
資本性金融商品の売却による収入	12,624	—
子会社の取得による支出	—	△784,974
利息及び配当金の受取額	4,558	8,850
その他	△13,353	1,816
投資活動によるキャッシュ・フロー	△84,500	△845,802
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額	△15,000	324,337
社債の発行及び長期借入れによる収入	50,000	472,275
社債の償還及び長期借入金の返済による支出	△50,000	△25,379
自己株式の取得による支出	△60,556	△10,735
親会社の所有者への配当金の支払額	△100,355	△116,653
リース負債の返済による支出	△16,495	△13,246
その他	△3,218	△16,539
財務活動によるキャッシュ・フロー	△195,623	614,060
現金及び現金同等物の為替変動による影響	13,210	18,113
現金及び現金同等物の増減額	60,854	△41,153
現金及び現金同等物の期首残高	315,986	376,840
現金及び現金同等物の期末残高	376,840	335,687

(6) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(企業結合)

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

IVERIC bio, Inc. の取得

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称	IVERIC bio, Inc. (以下「Iveric Bio社」)
事業の内容	医薬品の研究開発

② 取得日

米国東部時間 2023年7月11日

③ 取得した議決権付資本持分の割合

100%

④ 被取得企業の支配の獲得方法

現金を支払対価とする株式取得

⑤ 企業結合を行った主な理由

当社は、VISION「変化する医療の最先端に立ち、科学の進歩を患者さんの『価値』に変える」の実現に向け、最先端の「価値」駆動型ライフサイエンス・イノベーターを目指しています。研究開発戦略であるFocus Areaアプローチとして、多面的な視点でバイオロジーとモダリティ/テクノロジーの独自の組み合わせを見出し、アンメットメディカルニーズの高い疾患に対する革新的な医薬品の創出に取り組んでいます。現在、「再生と視力の維持・回復」を含む5つのPrimary Focusを特定し、優先的に経営資源を投下しています。Iveric Bio社買収は、当社が掲げる重点領域における製品ポートフォリオ構築のための重要なステップとなります。

Iveric Bio社は、眼科領域において新規治療薬の研究開発に注力しています。地図状萎縮 (Geographic Atrophy: GA) を伴う加齢黄斑変性 (Age-related Macular Degeneration: AMD) の治療薬として開発中のIZERVAY (一般名: avacincaptad pegol、以下「ACP」) 硝子体内注射液について、米国食品医薬品局 (FDA) から2023年8月4日 (現地時間) に承認を取得しました。

補体因子C5阻害剤であるACPは、GAを伴うAMDの治療薬候補であり、十分な治療を受けていない多くの患者さんに価値を提供できる可能性があります。ACPは、これまでに2つのピボタル試験 (GATHER1, 2試験) において、主要評価項目 (GAの進行抑制) を統計学的に有意に達成し、この適応症についてFDAからブレイクスルーセラピー指定 (Breakthrough Therapy Designation) を受けています。

Iveric Bio社のリードプログラムであるACPを獲得することが、当社の経営計画2021で定める2025年度までの売上目標に貢献するだけでなく、ACPは、fezolinetantやPADCEVとともに収益を生み出す柱として、2020年代後半に控えるXTANDIの独占期間満了による売上減少を補うことが期待されています。

また、Iveric Bio社の買収により、当社は、コマーシャルチームや、専門家との広範なネットワーク、医療機関とのパートナーシップを含む、眼科領域における基盤ケイパビリティを獲得します。このようなケイパビリティ獲得を通じて、当社は、Primary Focus「再生と視力の維持・回復」における目標達成に向け、臨床開発・市場アクセスを加速させていきます。

(2) 取得日現在における取得資産、引受負債及び支払対価の公正価値

(単位：百万円)

	第2四半期連結会計期間 末の暫定的な公正価値	その後の修正	修正後の公正価値
無形資産（仕掛研究開発）	884,331	—	884,331
FVTOCIの金融資産（負債性）	9,986	—	9,986
現金及び現金同等物	44,649	—	44,649
その他の資産	2,607	—	2,607
繰延税金負債	△149,046	△4,252	△153,298
短期借入金	△15,079	—	△15,079
その他の負債	△7,984	—	△7,984
取得資産及び引受負債の 公正価値（純額）	769,464	△4,252	765,212
ベース・アジャストメント	△5,584	—	△5,584
のれん	35,236	8,374	43,610
合計	799,116	4,122	803,238
支払対価の公正価値の合計	799,116	4,122	803,238

当連結会計年度において、当該企業結合の取得日現在における取得資産、引受負債及び支払対価の公正価値の測定に関して、新たな事実が判明し追加的な分析を行ったため、上記のとおり、一部の引受負債及び支払対価の暫定的な公正価値を修正しています。なお、取得日現在における取得資産、引受負債及び支払対価の公正価値の測定は継続中であるため、企業結合の当初の会計処理は完了していません。

のれんの主な内容は、個別に認識要件を満たさない、取得から生じることが期待される既存事業とのシナジー効果及び超過収益力です。

(3) キャッシュ・フロー情報

	金額（単位：百万円）
支払対価の公正価値の合計	803,238
被取得企業が保有する現金及び現金同等物	△44,649
ベース・アジャストメント	5,584
子会社の取得による支出	764,173

上記のほか、Iveric Bio社の権利確定前のストック・オプション等の株式報酬に係る支払33,434百万円を企業結合とは別個に認識し、連結純損益計算書の「その他の費用」に計上しています。

(4) 取得関連費用

3,614百万円

取得関連費用は、連結純損益計算書の「販売費及び一般管理費」に含まれています。

(5) 連結純損益計算書に与える影響

- ① 当連結会計年度の連結純損益計算書で認識されている取得日以降の被取得企業の税引前利益（△は損失）

△107,506百万円

(注) 上記には、企業結合とは別個に認識されたIveric Bio社の権利確定前のストック・オプション等の株式報酬に係る支払33,434百万円が含まれています。

- ② 企業結合が期首に実施されたと仮定した場合の当連結会計年度の連結純損益計算書の税引前利益に与える影響額（△は損失）

△52,765百万円

(注) この影響額は、Iveric Bio社の2023年4月1日から取得日までの業績に基づいて算定しています。



(セグメント情報)

当社グループの主要な事業内容は医薬品の研究開発、製造及び販売であり、区分すべき事業セグメントが存在しないため、報告セグメントは医薬品事業単一となっています。

製品及びサービスに関する情報

製品及びサービスごとの外部顧客への売上収益は次のとおりです。

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
XTANDI	661,118	750,466
プログラフ	198,777	203,085
ベタニス/ミラベトリック/ベットミガ	188,575	198,066
その他	470,148	452,055
合計	1,518,619	1,603,672

地域に関する情報

売上収益及び非流動資産の地域別内訳は次のとおりです。

地域別売上収益

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
日本	284,844	286,218
米国	658,247	668,551
その他	575,528	648,903
合計	1,518,619	1,603,672

(注) 地域別売上収益は、当社グループ各社の所在地を基礎として分類しています。

地域別非流動資産（有形固定資産・のれん及び無形資産）

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
日本	349,083	308,014
米国	710,513	1,734,228
その他	117,771	124,018
合計	1,177,367	2,166,260

主要な顧客に関する情報

連結純損益計算書の売上収益の10%以上を占める相手先は次のとおりです。

(単位：百万円)

	関連するセグメント名	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
McKesson Group	医薬品事業	259,992	243,433
AmerisourceBergen Group	医薬品事業	166,934	175,018

(1株当たり当期利益)

基本的1株当たり当期利益及び希薄化後1株当たり当期利益の算定上の基礎は次のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
基本的1株当たり当期利益の算定上の基礎		
親会社の所有者に帰属する当期利益(百万円)	98,714	17,045
親会社の普通株主に帰属しない当期利益(百万円)	—	—
基本的1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益(百万円)	98,714	17,045
加重平均普通株式数(千株)	1,820,019	1,793,276
希薄化後1株当たり当期利益の算定上の基礎		
基本的1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益(百万円)	98,714	17,045
当期利益調整額	—	—
希薄化後1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益(百万円)	98,714	17,045
加重平均普通株式数(千株)	1,820,019	1,793,276
希薄化性潜在的普通株式の影響(千株)	5,042	6,384
希薄化効果調整後加重平均普通株式数(千株)	1,825,061	1,799,660
1株当たり当期利益(親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり当期利益(円)	54.24	9.51
希薄化後1株当たり当期利益(円)	54.09	9.47

(重要な後発事象)

該当事項はありません。